平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	11	ー	41

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	雄武町スポーツ振興事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	横田和幸		氏名	櫻井輝久
事業の概要	各種スポーツの全国・全道大会へ出場する個人、又は団体へ経費の一部を補助する事業である。					

全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	2,000 千円
	事業費計	2,000 千円

実施方法	■	直営		民間委託		その他（　　）
第５期総合計画（前期）	■	登載事業		非登載事業	優先度	B

事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進
	単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務
	その他計画・根拠等		

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	610 千円	20 千円	54 千円	104 千円	400 千円
合計	610 千円	20 千円	54 千円	104 千円	400 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民（スポーツ団体）
【抱える課題やニーズは】	個人・団体への大会参加経費の軽減による参加の促進。
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	大会参加による競技意識の喚起及び積極的な上位大会への参加。
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	充実したスポーツ活動の推進、競技意識の高まりを目的とする。

望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）

大会出場の個人・団体

指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
① 出場種目　個人	目標年度	平成23年度
	目標値	1 種目
	実績値	2 種目
	達成度	200.0 %
② 出場種目　団体	目標年度	平成23年度
	目標値	1 団体
	実績値	0 団体
	達成度	0 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
個人・団体への出場経費の補助	全国・全道大会へ出場する個人からの申請書提出後、要綱に基づき審査を行い助成した。（個人：空手、パークゴルフ）

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	全国・全道大会は、交通費等により個人負担は高額となる。これらの大会に出場することは、出場者の競技レベルの向上につながり、本町のPR効果も充分に果たすものであることから、一部の助成は必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	競技者への負担を軽減することにより、積極的な参加が図られ、競技スポーツの向上につながった。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	高いレベルの大会参加を補助することは、当町のスポーツ環境向上に寄与しており、十分効果を得ている。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	事業趣旨に沿い、大会成績を基準に補助していることから、公平性は保たれている。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
本事業は、本町の競技スポーツの向上と参加促進につながり、特に児童・生徒の競技意識の高揚につながった。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
スポーツ活動の推進とともに、レベルの高い競技者の育成、将来の指導者の養成といった観点から、今後も継続が必要である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）